

Title	平成九年度 三田史学会大会
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1997
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.67, No.1 (1997. 9) ,p.197- 200
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19970900-0197">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19970900-0197</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

平成九年度 三田史学会大会

——平成九年六月二十八日(土)——

研究発表

日本史部会

- |   |                                |                 |       |
|---|--------------------------------|-----------------|-------|
| 1 | 評制施行をめぐって                      | 日本学術振興会特別研究員    | 井内誠司  |
| 2 | 古河公方発給文書について                   | 慶應義塾大学(大学院修士課程) | 阿部能久  |
| 3 | 中世前期の春日社における御神楽について            | 慶應義塾大学(大学院修士課程) | 池和田有紀 |
| 4 | 室町期東国在地領主の存在形態——常陸国真壁氏を中心に——   | 慶應義塾大学(大学院修士課程) | 清水亮   |
| 5 | 足利義晴政権の基盤                      | 慶應義塾大学(大学院修士課程) | 羽田聡   |
| 6 | 中世後期法華宗の寺檀の構造                  | 慶應義塾大学(文学部講師)   | 古川元也  |
| 7 | 近世房総半島における捕鯨——勝山村鯨組の実態——       | 慶應義塾大学(大学院修士課程) | 神蘭剛   |
| 8 | 福井準造の思想と行動——社会主義・社会問題から農村問題へ—— | 慶應義塾大学(文学部講師)   | 松田隆行  |

東洋史部会

- 1 ヌールツデーの勢力拡大と聖戦論  
慶應義塾大学(大学院博士課程) 柳谷 あゆみ
- 2 清末民初江南地域社会における政治変動——上海県一在地有力者の動向を通じた素描——  
慶應義塾大学(大学院博士課程) 佐藤 仁史
- 3 第一次大戦前のオスマン帝国におけるドイツ軍事使節団 森村 学園(高等部講師)  
松長 未紀
- 4 南京国民政府の中央権力機構の変遷と蔣介石  
慶應義塾大学(文学部講師) 家近 亮子

西洋史部会

- 1 第二次クー・クラックス・クランに見られる自警団主義の伝統  
綾 辺 昌 朋
- 2 一七四〇年代前半ポーランドにおける軍事・財政改革の試み  
広 島 大 学(大学院博士課程) 戸 波 勝 徳
- 3 カンブレール同盟戦争とドイツ人商館  
同志社大学(文学部講師) 山 中 淑 江

民族学・考古学部会

- 1 高昌ウイグル王国における石窟造営——石窟構造と壁画主題との関連について——  
慶應義塾大学(大学院修士課程) 島 恭 裕
- 2 タコツボの形態からみた沿岸漁撈の一形式  
慶應義塾大学(大学院修士課程) 鯛 史 子
- 3 異系統土器群の受容とその変化について——南関東地方における縄文時代中期加曾利E式土器の変遷から——  
慶應義塾大学(大学院修士課程) 合 田 恵 美 子
- 4 縄文時代における集石遺構について——地域差の把握をめぐる——  
慶應義塾大学(大学院修士課程) 相 馬 容 子

5 メソポタミアにおける宮殿の構成と働き——青銅器時代遺構の平面の分析から——

慶應義塾大学(大学院修士課程)

高田 学

6 石器製作技術と石材の物理的性質との関係——頁岩製尖頭器の製作と縦長剝片剝離——

慶應義塾大学(大学院修士課程)

米倉 薫

公開講演

講演者 藤田 苑子氏 (北海学園大学)

講演題目 「歴史人口学から社会史へ」

三田史学会総会

懇親会

三田史学会常任委員・委員 (平成9年7月～平成10年6月)

常任委員

会長 東畑隆介

庶務 長谷山彰 (2年) 山本英史 (1年) 吉武憲司 (2年)

棚橋 訓 (2年)

編集 三宅和朗 (2年) 坂本 勉 (1年) 鈴木公雄 (1年)

神崎忠昭 (2年)

会計 山本英史 (1年) 但し( )内は任期年数

会計監査 犬塚富士夫 湯川 武

委員

日本史	峰岸純夫、鈴江英一、戸沢行夫、西岡芳文、糸賀茂夫
東洋史	尾崎 康、山城喜憲、森 雅子、三沢伸生、野元 晋
西洋史	田辺三千広、宮前安子、米田 治、坂口昂吉
民 考	小川英雄、近森 正、藤村東男、阿部祥人